

令和 6 年 度

事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)



社会福祉法人 三愛会

法人設立 平成15年 3月 3日

施設開設 平成15年10月 1日

特別養護老人ホーム 愛華の郷（従来型）
特別養護老人ホーム 愛華の郷（ユニット型）
老人短期入所事業所 愛華の郷
老人デイサービスセンター 愛華
居宅介護支援事業所 愛華の郷
地域包括支援センター 愛華の郷

令和 7 年 3 月 31 日

令和 6 年度事業報告（概要）

令和 6 年度、国際情勢はウクライナ・ロシア戦争(2022 年 2 月～)、イスラエルのガザ地区侵攻(2023 年 10 月～)が依然として続くなか、アメリカのトランプ政権(2025 年 1 月～)発足による”関税戦争”が始まりました。

国内は、コメの価格上昇をはじめとする諸物価高騰や人件費引き上げ等の影響を強く感じる、まさに国内外ともに何が起きても不思議ではない内憂外患の 1 年でありました。

施設経営においては、大きな変化として藤枝市委託事業「地域包括支援センター」の廃止が挙げられます。新受託事業者の社会福祉法人富水会（第 2 開寿園）の協力等もあり円滑な移行引継ぎが完了いたしました。富水会の関係者に深く感謝申し上げる次第であります。

本年度の事業計画に掲げた、LIFE 関連、生産性向上加算は、関係職員が一丸となり対応し加算取得に繋がっています。

個別事業は、短期入所部門において利用者減少があったものの、年間利用率 102.6%を堅持し及第点といえます。

当法人の経営結果の指標の一つである年度末支給の勤勉手当等は、昨年度並みの支給（例：正規介護職員 430 千円（昨年度比△2 万円）、人事考課・勤続年数加算を加味すると実質増額）となりました。

以下のとおり、令和 6 年度事業報告を概要説明（一部別頁参照）いたします。

1. 各部門・事業の内容（ ）は参照頁

- ①特養（P12）
- ②短期（P16）
- ③デイ（P19）
- ④居宅（P22）
- ⑤包括（P24）活動は 4 月～12 月

2. 収支等結果

サービス活動収益（収入）769,141 千円、経常利益 78,695 千円（参考：昨年度 80,473 千円）となりました。部門別経常利益は、特養従来型 70 床 36,546 千円、特養ゆうか 30 床 25,599 千円、短期 4,462 千円、デイ 11,518 千円となりました。

最終的な利益は年度末支給の勤勉手当（大規模修繕・建替資金を除き残りは職員へ還元する）にて調整を図ることができる状況となっており、経営は堅調に推移していると判断しています。

当施設全体の人件費率は 66.0%、昨年度 65.6%と比べて、0.4 ポイント増加しましたが適性値を保っております。

<目次>

I. 法人等

法人概要、施設概要		P 1
経営理念		P 2
組織図		P 3
評議員・役員・評議員選任委員		P 4
職員配置表		P 5
施設内企画行事、防災訓練		P 6
その他		P 7
食事提供		P 8～10
実習生・体験学習受入		P 11

II. 各事業所・会議・研修等

○特別養護老人ホーム		P 12～15
○短期入所生活介護		P 16～18
○通所介護		P 19～21
○居宅介護支援事業所		P 22～23
○地域包括支援センター		P 24
○各種会議		P 25～26
○各委員会		P 27～32
○研修関係		P 33～36

III. 事業報告の附属明細書		P 37
-----------------	-------	------

I 法人等

社会福祉法人 三愛会

法人概要

平成15年 3月 3日	法人設立（登記）
平成15年10月 1日	特別養護老人ホーム 愛華の郷 介護保険事業所指定
平成15年10月 1日	老人短期入所事業所 愛華の郷 介護保険事業所指定
平成15年10月 1日	老人デイサービスセンター 愛華 介護保険事業所指定
平成15年10月 1日	居宅介護支援事業所 愛華の郷 介護保険事業所指定
平成16年 4月 1日	在宅介護支援センター 藤枝市からの委託事業
平成18年 3月31日	在宅介護支援センターの廃止
平成18年 4月 1日	地域包括支援センター 愛華の郷 藤枝市からの委託事業
平成27年 4月 1日	特別養護老人ホーム 愛華の郷 30床増床
平成27年 9月30日	認知症対応型通所介護の廃止
平成27年10月 1日	一部ユニット型施設の変更
平成29年 4月 1日	日常生活支援総合事業の緩和基準通所型サービス事業
令和 6年12月31日	地域包括支援センターの廃止

愛華の郷 施設概要

建物及び面積

	既存建物（鉄骨造り3階建）	増床部建物（鉄骨平家建）
敷地面積	6,072.35㎡	3,140.95㎡
建物	延4,725.19㎡	延1,168.75㎡
建築面積	1,927.27㎡	1,168.75㎡

- 1 階 事務所、集会室、相談室、デイサービスセンター、調理室等
- 2 階 ・4人部屋×3室（12人）・個室9室（9人）
・短期入所：20人（4人部屋×3室、2人部屋×4室）
・介護職員室、医務室、面接室、理美容室等
- 3 階 ・4人部屋×3室（12人）・4人部屋×4室（16人）
・4人部屋×3室（12人）・個室9室（9人）
・介護職員室、静養室
- ゆうか ・ユニット型個室10室×3ユニット（30人）
・介護職員室、ミーティングルーム、レストルーム

社会福祉法人 三 愛 会
特別養護老人ホーム 愛華の郷

私たちは、経営における志として下記を定め、併せて「三つの喜び」を求めることを経営理念といたします。

“私たちの志” 「地域福祉に貢献します。百年宣言」

(説明)

私たちは、「地域」の住民の一員として、この地で活動させていただいているという感謝の気持ちを忘れません。

私たちは、「福祉」を経営の基本事業とし、福祉を通じて社会に貢献いたします。

私たちは、「百年」という永きに亘り経営を維持・継続するよう努力いたします。そのためには、適正な利益を積み重ねることが、最も重要な要素と位置付けます。

以上を一言集約し「地域福祉に貢献します。百年宣言」を“私たちの志”といたします。

経営理念「三つの喜び」

一、利用者の喜び

私たちは、利用者への介護・福祉サービスの提供を通じて、利用者であるご本人とご家族の“喜び”が最大限となるよう常に努力いたします。

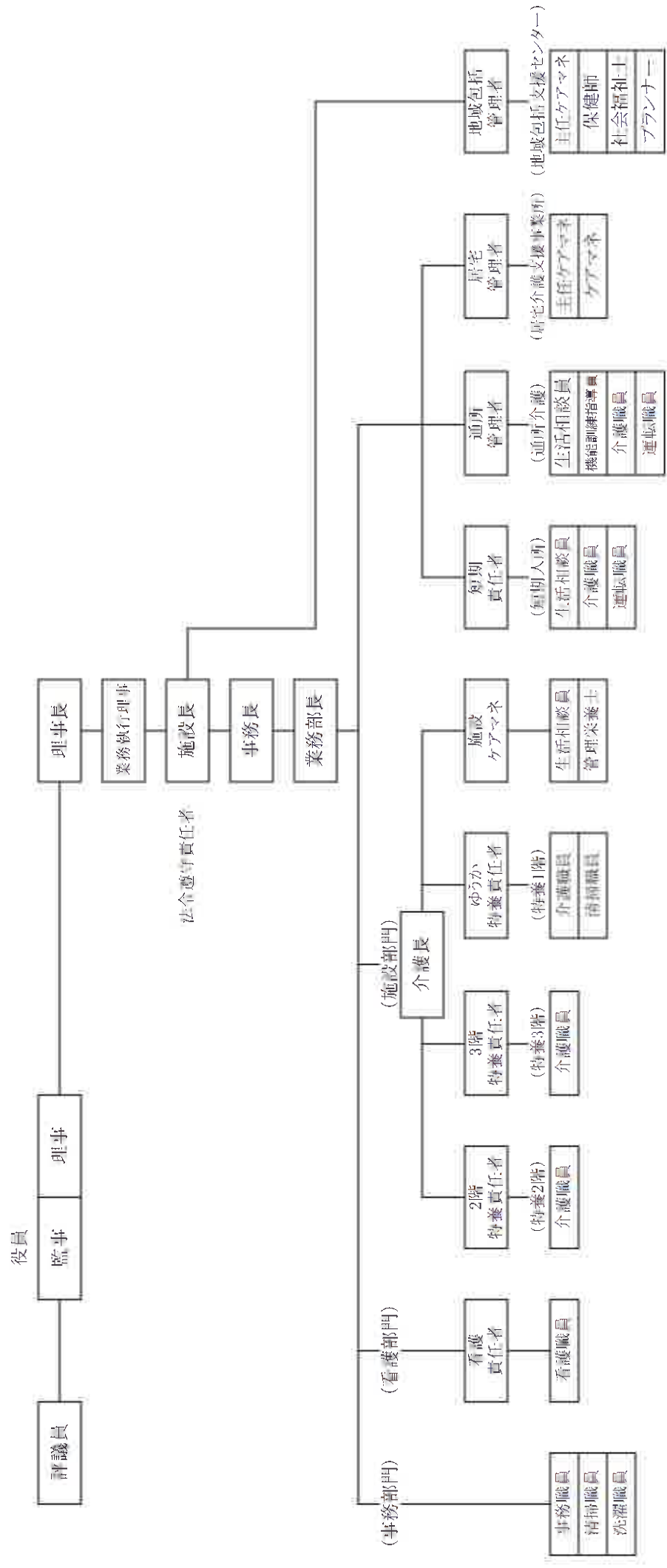
二、地域の皆様の喜び

私たちは、地域に密着した信頼される施設といたします。その結果、地域の皆様の“喜び”に繋がる経営を目指します。

三、職員の喜び

私たちは、施設職員として働く“喜び”を追求するため、公正な処遇のもと、働くことに生きがいや人間的成長が感じられる職場環境の実現を目指します

社会福祉法人 三愛会 特別養護老人ホーム 愛華の郷 組織図



評議員・役員・評議員選任委員

【評議員】任期:令和3年6月11日～令和7年6月定時評議員会

区 分	氏 名	摘 要
評議員	大塚恭弘	
評議員	小林一男	
評議員	堀田修久	
評議員	小向昌弘	
評議員	青野幸憲	

【評議員】任期:令和5年6月13日～令和9年6月定時評議員会

評議員	井原詠子	
評議員	森下光宏	

【理事・監事】任期:令和5年6月13日～令和7年6月定時評議員会

区 分	氏 名	摘 要
理事(理事長)	阿井孝訓	
理事(業務執行理事)	竹本壽明	
理 事	小幡志朗	
理 事	八木政徳	
理 事	阿井義訓	
理 事	是永透	
監 事	早川智朗	
監 事	飯村富美代	

【評議員選任委員】(常設、任期:令和3年6月11日～令和7年6月定時評議員会)

区 分	氏 名	摘 要
事務局員	小沢江美	
外部委員	中原寿治	

【評議員選任委員】(常設、任期:令和5年6月13日～令和9年6月定時評議員会)

監 事	早川智朗	
監 事	飯村富美代	

職員配置表

(令和7年3月現在)

	職 名	常 勤	非 常 勤	計
介護老人福祉施設 短期入所生活介護	施設長	1	0	1
	事務長	1	0	1
	事務員	2	0	2
	生活相談員	2	0	2
	介護支援専門員	1	0	1
	管理栄養士	1	1	2
	介護職員 等	3 8	3 4	7 2
	看護職員	4	3	7
	医師	0	1	1
	運転職員	0	1	1
	清掃・洗濯職員	0	5	5
通所介護事業	生活相談員	1	0	1
	介護職員 等	4	1 1	1 5
	機能訓練指導員	1	0	1
	運転職員	0	2	2
居宅介護支援事業	介護支援専門員	5	0	5

* 兼務者は、時間数の多い職務にカウント。

地域包括支援センター	看護師	0	0	0
	社会福祉士	1	0	1
	主任介護支援専門員	1	0	1
	保健師	0	0	0
	プランナー	0	1	1

* 地域包括支援センターは、令和6年12月31日付カウント。

施設内企画行事 実施報告

月 日	内 容
9月12日 17日 18日	敬老会（各部署毎）
9月22日	あいか祭

防災訓練 実施報告

月 日	内 容
4月 1日	火災報知器・消火器点検・排煙口の開閉確認（各部署実施） 防災関連設備の確認 今年度の年間防災計画の確認
5月20日	防災訓練（各部署実施） 防災マニュアル・設備・備品の確認 避難訓練・情報伝達訓練 新入職員及び中途採用職員への研修
5月31日	【静岡県】災害時情報共有システムの訓練
6月 3日	火災報知器・消火器点検（各部署実施） 5月防災訓練の反省 9月施設内研修の検討
7月 1日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 マンホールトイレの設置訓練
8月 5日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 9月及び10月防災訓練の計画
8月19日	【静岡県】災害時情報共有システムの訓練
9月 2日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 9月及び10月防災訓練の最終確認 防災テント、段ボールベッドの組み立て方法の確認
10月17日	BCP 3施設合同防災訓練の実施 炊き出し訓練、避難訓練、被災者受入訓練等
11月 5日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 各部署の防災用品の確認
12月 2日	火災報知器・消火器点検、施設内部情報伝達訓練（らくらく連絡網）、防災物品の確認（ヘルメット、防災頭巾、電池、階段非常灯等）
1月 6日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 次年度年間防災計画
2月 3日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 今年度の反省、次年度防災計画の確認
3月 3日	火災報知器・消火器点検 排煙口の開閉確認 次年度防災訓練の計画、階段の非常灯の点検方法

その他 実施報告

R060922 久しぶりのあいか祭

数年ぶりに、あいか祭（秋まつり）が開催されました。ご利用者の皆様やご家族様多数参加して頂きました。お好み焼き、ミニたい焼き、駄菓子屋さん、うちわ作り、ボッチャ、バルーンアートと出店も多く出すことができました。



R061017 3施設合同防災訓練

第2開寿園（特養）、グリーンヒルズ藤枝（老健）との合同防災訓練が行われました。BCP訓練の一環として、第2開寿園にて物資の要請搬入や炊き出し・被災者受け入れ・移動支援などの訓練を実施しました。



○食事提供

1. 食事提供状況（行事食含む）

	日	行事等	内 容
4月	4 木	お花見	桜のちらし寿司
	5 金	旬(春)	ビースご飯、さわらの味噌味噌ダレがけ
	7 日	旬(春)	春キャベツとあさりのソテー
	10 水	旬(春)	筍ご飯
	20 木	駅弁シリーズ【鎌倉駅】	しらす弁当(しらす弁当(いくら・あおさ粉)、鶏のくわ焼き、白菜と平天の塩シモンシタマ、桜漬け、みかん缶)
5月	5 日	こどもの日(端午の節句)	オムライス、エビフライ、コンソメスープ、手作りオレンジゼリー／おやつ鯉のぼり羊羹
	12 日	母の日	赤飯、さしみ盛り、ごぼうと豚肉の炒り煮、味噌汁／おやつ母の日まんじゅう
	15 水	旬(春)	豆(ビース)ご飯
	24 金	駅弁シリーズ【千葉駅】	潮干狩り弁当(あさり、ホッケの塩麹焼き、高野豆腐と豚肉のデイコロ煮、小松菜の和え物、洋なし缶)
6月	10 月	旬(梅雨)	あじさい寿司
	16 日	父の日	赤飯、さしみ盛り、高野豆腐と鶏肉のデイコロ煮、とろろ昆布汁／おやつあん菓子
	25 火	駅弁シリーズ【豊橋駅】	稲荷寿司弁当(稲荷寿司弁当、蓮根と豚肉の煮物、甘酢生姜、白桃缶)
7月	6 土	七夕	七夕そうめん／おやつ手作り星形ミルクプリン(あんずソース)
	15 月	海の日	ホキのグリル(地中海風ソース)
	22 月	駅弁シリーズ【仙台駅】	うま〜いどん井(うま〜いどん井(焼肉そぼろ)、いかふくさ焼き、ポテトサラダ、桜漬け、ぶどう缶)
	24 水	土用の丑	うな井
8月	13 火	旬(夏)	冷やし中華
	14 水	お盆	精進の炊き合わせ(絹揚げ)
	28 水	駅弁シリーズ【東京駅】	ペリダグステーキ弁当(ご飯梅干し、いり胡麻、ハッシュポテトソース、金平ごぼう、コーンスープサラダ、野沢菜漬、マゴチ缶)
9月	9 月	重陽の節句	ちらし寿司
	16 月	敬老の日	秋のきのこご飯、さしみ盛り、大根とグリーンピースのそぼろ煮、味噌汁／おやつ紅白まんじゅう
	17 火	十五夜(中秋の名月)	おやつ手作りプリン(塩ミルクソース)
	23 月	秋のお彼岸(秋分の日)	おやつおぼろ
	26 火	駅弁シリーズ【岡山駅】	栗おこわ弁当(栗おこわ(赤飯)、サケの塩焼き、れんこんと油揚げの炒め生煎、ブロッコリーサラダ、昆布佃煮、洋なし缶)
10月	7 月	旬(秋)	萩ご飯
	10 火	紅葉	吹き寄せ寿司
	15 火	十三夜	栗ご飯
	25 水	駅弁シリーズ【いわき駅】	小名浜オムライス(オムライス、豚の生姜炒め、マカロニサラダ、しるなとツナのソテー、しほ漬、白桃缶)
11月	19 火	駅弁シリーズ【静岡駅】	やきとり弁当(ご飯鶏の照り焼き・卵そぼろ)、切干大根、かぼちゃのふわふわ豆腐、野沢菜漬、西洋なし缶)
12月	11 月	駅弁シリーズ【姫路駅】	旨い！たこめし(たこ飯、シマホッケの塩麹焼き、卵の花、グリーンアスパラの和え物、甘酢生姜、洋なし缶)
	21 土	冬至	かぼちゃの含め煮
	25 水	クリスマス	オムライス、鶏のから揚げ、ブロッコリーの洋風お浸し、コーンポタージュスープ／おやつ手作りの星形ミルクプリン(いちごソース)
	31 火	大晦日	年越しそば風すまし汁
1月	1 水	お正月(元旦)	朝食お正月盛り合わせ／昼食赤飯、おせち【一の重】／おやつ手作りの福まんじゅう(紅・白あん)
	2 木	お正月	初春のちらし寿司、お煮しめ／おやつ手作りの福ようかん
	15 水	小正月	赤飯、さしみ盛り、れんこんと豚肉の煮物、味噌汁
	21 火	駅弁シリーズ【札幌駅】	石狩鮭めし(石狩鮭めし(サケ・いくら・卵)、山芋と竹輪の煮物、かにクリーム、うまい菜のおから和え、甘酢生姜、黄桃缶)
2月	1 土		ちらし寿司、いわしのつみれ汁
	2 日	節分	
	3 月		おやつきなこゼリー
	14 水	バレンタインデー	おやつチョコワッフル
	26 月	駅弁シリーズ【一ノ関駅】	豚肉の南部焼き弁当(ゆかりご飯、豚肉のごま醤油炒め、厚焼き玉子、ぶどうサラダ、筍と昆布の煮物、とくら漬、マゴチ缶)
3月	3 月	ひな祭り	ちらし寿司、筍と豚肉の炒り煮、とろろ昆布のすまし汁、フルーツ缶／おやつ手作りの福まんじゅう(紅・白)
	14 火	ホワイトデー	おやつ手作りのハート形いちごミルクプリン
	20 木	春のお彼岸(春分の日)	おやつぼたもち
	24 月	駅弁シリーズ【千葉駅】	菜の花弁当(鶏と卵のそぼろご飯、高野豆腐のデイコロ煮、キャベツのビーコンサラダ、白桃缶)

2. 食事形態の状況

長期入所100として

(人)

食種	普通	刻み	ソフト	ミキサー	ゼリー	経管栄養 (経口含)
R7年3月15日	11	35	27	22	4	1 (ミキサー1)

主食形態 (朝パン)	朝昼パン	ご飯	軟飯	粥	ミキサー	ゼリー	経管栄養 (経口含)
R7年3月15日	1	11 (0)	19 (1)	39 (1)	26 (0)	3 (0)	1 (ミキサー1)

<対応可能な特別食>…対象者数

・特別食【栄養食】…22名

(低栄養状態のリスクが高い方、褥瘡対応、看取り期に移行した際の食事を含む)

・特別食【パン食】…対象者1名

(体重減少率大等低栄養状態のリスクが高い方)

※使用する栄養補助食品等、必要に応じて内容を変更・展開していくものとする。

食事に取り入れている栄養補助食品等一覧

(個)

R7年3月	朝	昼	夕	その他	1日分
エンジョイゼリープラス	-	1	2	-	4
クリミール	1	2	2	-	9
高たんばくゼリー	1	1	1	-	2
高カロリーゼリー	-	-	-	-	0
高カロリーチョコゼリー	-	1	-	-	0
メイバランスミニ	-	-	-	3	2
メイバランスブリックゼリー	-	-	-	2	1
アイソカルゼリーハイカロリー	-	-	-	4	3
ブイタレスCP10ゼリー	-	-	-	4	3

3. 管理栄養士 自己評価

(1) 給食管理

食中毒・ノロウイルス流行時期到来に伴い、流行状況や予防策について啓発を行いました。

ノロウイルス感染症の陽性者（疑い含む）は使い捨て食器に変更し感染拡大の防止に努めました。また、食器の下膳方法について注意点を周知致しました。

ご利用者様にとって安全な食事を提供できるように食中毒予防や異物混入、摂食嚥下状態に応じたカットの仕様について重点的に再確認を行いました。

(2) 栄養管理

褥瘡や栄養不良状態の予防と改善に力を入れました。ミールラウンドを強化することで低栄養や嚥下状態を細かく把握できるようになり、嗜好に合わせた食事など細かな提案ができるようになりました。栄養補助食品を使用し、少量で効率良く栄養を摂取、吸収できるように選別し対応いたしました。個人の食事量や覚醒状態に合わせ、食事提供時間も変更しております。個々の問題について早期発見し早期改善となるよう、多職種と情報を共有し、個別対応を強化することで柔軟な対応を行って参りました。介護職員や給食委託会社の協力も得られ、早期に推移を把握し迅速な対応を行いました。

(3) その他

今年度はあいか祭が行われました。職員や給食委託会社の協力も得られ軽食を提供する準備を行いました。また各フロアで行うおやつレク時の調理器具や食器の貸し出しのお手伝いもさせていただきました。

給食管理ソフトを活用し、食数管理をもとに食数把握や、個別情報一覧表作成により細かな情報提供を行いました。

ショートステイの相談員との連携を図り、感染症の流行時期の入退所者情報を共有し食数変動の把握に努めました。

○実習生・体験学習受入

大学生の福祉体験、福祉系大学の社会福祉士実習・介護福祉士実習、小中学校・各種団体からの職場・福祉体験等を受入れます。

	受入先	実人数	延人数
6月	清流館高校 3年 介護福祉士実習	2	16
7月	清流館高校 3年 介護福祉士実習	2	24
	清流館高校 1年 介護福祉士実習	1	4
8月	焼津高校 2年 職場体験	1	3
10月	中部看護専門学校 2年 看護師実習	2	2
	清流館高校 2年 介護福祉士実習	2	24
2月	常葉大学 管理栄養士実習	1	5
合 計		11	78

※ 行われた実習については、感染症予防の対応を行った上で実施されました。



Ⅱ 各事業所・会議・研修等

○長期入所 特別養護老人ホーム愛華の郷

1. 事業概要

(1) 基本方針

お客様の人格を尊重し、家族との連絡を密にして、職員のチームワークをもって適切な介護・介助に務め、明るく温かな家庭的な施設づくり、安心して日常生活が送れるよう介護福祉施設サービスを提供する。

(2) 職員数（短期入所と兼務）

施設長	1名	看護職員	6名
事務職員等	4名	介護支援専門員	1名
生活相談員	2名	管理栄養士	1名
介護職員等	57名		

(3) 利用定員 100名（多床室52名、従来型個室18名、ユニット型個室30名）

(4) サービス内容

指定介護福祉施設サービス

食事 管理栄養士の管理のもと、栄養並びに利用者の身体の状況及び嗜好を考慮した食事を提供する。
(食事時間)

朝食 7：45 昼食 12：00 夕食 17：30

入浴 お客様の身体状況に応じて一般浴槽や特殊浴槽にて入浴又は清拭を実施。

排泄 排泄の自立を促すため、お客様の身体能力を最大限活用した援助を実施。

健康管理 医師や看護職員が、健康管理を実施。

その他自立への支援

寝たきり防止のため、出来る限り離床に配慮する。清潔で快適な生活の提供と適切な整容が行われるよう援助する。

2. 長期入所利用実績表

(1) 月別利用状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
ユニット型個室	887	930	897	930	929	895	930	895	917	907	827	930	10,874
1日平均(人)	29.6	30.0	29.9	30.0	30.0	29.8	30.0	29.8	29.6	29.3	29.5	30.0	29.8
従来型個室	530	558	507	575	554	535	554	540	544	581	496	558	6,532
1日平均(人)	17.7	18.0	16.9	18.5	17.9	17.8	17.9	18.0	17.5	18.7	17.7	18.0	17.9
多床室	1,522	1,591	1,543	1,605	1,603	1,560	1,577	1,571	1,606	1,612	1,448	1,599	18,837
1日平均(人)	50.7	51.3	51.4	51.8	51.7	52.0	50.9	52.4	51.8	52.0	51.7	51.6	51.6
全体延べ人数	2,939	3,079	2,947	3,110	3,086	2,990	3,061	3,006	3,067	3,100	2,771	3,087	36,243
全体平均(人)	98.0	99.3	98.2	100.3	99.5	99.7	98.7	100.2	98.9	100.0	99.0	99.6	99.3

*通常・月遅れ分請求ベース（再請求・返戻分を除く）

(2) 要介護度別月別利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	60	62	53	60	31	30	31	31	0	0	480
要介護3	752	785	720	744	748	750	798	793	868	837	784	868	9,447
要介護4	1,069	1,147	1,171	1,228	1,231	1,160	1,174	1,181	1,172	1,178	1,015	1,100	13,826
要介護5	1,058	1,085	996	1,076	1,054	1,020	1,058	1,002	996	1,054	972	1,119	12,490
合計	2,939	3,079	2,947	3,110	3,086	2,990	3,061	3,006	3,067	3,100	2,771	3,087	36,243
平均介護度	4.06	4.06	4.05	4.07	4.06	4.05	4.06	4.05	4.02	4.05	4.07	4.08	4.06

(3) 新規入所者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット型個室	2	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	7
従来型個室	0	0	1	1	1	1	1	0	2	0	1	0	8
多床室	1	2	1	1	0	0	1	0	1	0	1	2	10
合計	3	2	3	2	1	2	2	1	4	0	3	2	25

(4) 退所者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ユニット型個室	1	0	1	0	1	0	0	1	1	0	1	0	6
従来型個室	0	0	2	0	1	1	1	0	2	0	1	0	8
多床室	2	1	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	9
合計	3	1	4	1	2	1	2	1	4	0	3	1	23

(5) 認知症高齢者の日常生活自立度ランクⅢa以上の入所者の割合

(単位：%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
76.5	78.2	79.2	80.2	82.2	81.2	81.4	82.2	82.7	82.0	80.6	82.2

(6) 事故報告書件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2階 21床	2	14	5	4	12	6	7	9	8	3	8	4	82
3階 49床	10	17	20	13	25	11	19	17	24	15	20	14	205
ゆうか 30床	8	17	10	6	7	9	8	5	8	10	10	8	106

(7) 藤枝市への事故報告書

- ① 5月 6日 転倒 右半身打撲
- ② 6月 6日 その他 右腕皮むけ
- ③ 6月 7日 その他 下義歯飲み込み 入院
- ④ 7月 17日 転落 左大腿部打撲
- ⑤ 11月 27日 その他 左手首骨折

(8) 救急車搬送

- ① 4月 7日 酸素飽和濃度低下 (誤嚥性肺炎で入院)
- ② 4月 13日 酸素飽和濃度低下 (心不全、腎不全で入院)
- ③ 4月 16日 意識レベル低下 (尿路感染症で入院)
- ④ 7月 17日 意識レベル低下 (腸炎 帰所)
- ⑤ 9月 7日 酸素飽和濃度低下 (肺炎、心不全で入院)
- ⑥ 12月 12日 吐血、発熱 (食道破裂で入院)

(9) 相談・苦情報告書件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	5

4. 自己評価

令和6年度は新型コロナウイルス感染症の状況も緩和されましたが、引き続き感染症対策に力を入れつつ、あいか祭や外出レクリエーションなどの施設内外イベントや行事を再開してきました。施設内でも、フロアごとに季節を感じられる装飾やレクリエーション、おやつレクリエーションを取り入れて、ご利用様が楽しみのある生活が送れるよう工夫してきました。しかし、市中や世間的に感染者数増加時期には、利用者様や職員等への感染を懸念し、面会の中止、外出の中止、各種行事の制限等様々な制約をせざるを得ない状況もあり、ご利用様とご家族様にはご迷惑をかける時期もありました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の流行に加え、インフルエンザウイルスも猛威をふるい、さらに感染性胃腸炎の流行など様々な感染症の流行がみられました。幸い、施設内では大きな集団感染等なく過ごすことができましたが、重症化リスクの高い高齢者が多数入居する施設でもあるため、今後も感染予防対策に向けた取り組みが必要だと実感しています。

稼働率に関しては、例年に比べて入院患者数は少なく、入退所数に関しては大きな差はない年でした。退所から入所をスムーズに行い、目標稼働率を達成することができました。

今年度はL I F E（科学的情報システム）も導入しました。まだ手探り状態ですが、L I F EというツールによりPDCAサイクルを活用しながら、根拠に基づいた計画を実施することで、ケアの質の向上に繋がるよう努めていきたいです。

近年、感染症の流行や、各地で大規模な地震の発生、大雨等による自然災害の発生が多く見られています。施設でも緊急事態に備え事業を継続するための具体的な指針や行動計画を定め、感染症BCP訓練や3施設合同の防災訓練を行いました。災害発生時に適切な対応を行い、その後も利用者様に必要なサービスを継続的に提供できる体制を構築する為に、全職員が共通認識を持ち行動できるよう訓練を実施し、平時から災害に対する意識を高められるよう取り組んでいます。



あいか祭



感染症BCP訓練

○短期入所 老人短期入所事業所愛華の郷（併設型短期入所生活介護）

1. 事業概要

（１）基本方針

要介護・要支援状態の高齢者の方を短期間施設で受け入れ、その施設内において食事、排泄、入浴等の介護、日常生活上のお世話、機能訓練等を行います。また、ご家族への負担を軽減し、ご自宅での生活を安心して続けられるよう支援します。

（２）職員数

管理者	1名	介護職員	12名
生活相談員	1名	看護職員	1名（兼務）
管理栄養士	1名（兼務）		

（３）利用定員 20人

（４）サービス内容

食事 管理栄養士の管理のもと、栄養並びに利用者の身体の状態及び嗜好を考慮した食事を提供する。

（食事時間）

朝食 7：45 昼食 12：00 夕食 17：30

入浴 基本的に週2回のペースで入浴又は清拭を行い、利用者の健康と清潔を保持する。入浴前は健康チェックを行い、利用者の心身状況に応じて一般浴槽や特殊浴槽を使用する。

排泄 利用者の心身状況に応じ適切な方法で排泄介助を行い、利用者の健康と清潔を保持する。

健康管理 看護職員により利用者の健康を管理する。

活動 レクリエーション活動にDAMを活用し、体操や音楽など利用者が自主的に参加できる機会とする。

送迎 入所時・退所時の送迎を行う。

その他自立への支援

利用者の心身機能を維持するため、生活リズムを整える。また、清潔で快適な生活環境を提供し、適切な整容を支援する。

2. ショートステイ利用実績表

(1) 月別利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
延べ人数	649	675	642	698	678	595	621	558	598	612	545	621	7,492
1日平均	21.6	21.8	21.4	22.5	21.9	19.8	20.0	18.6	19.3	19.7	19.5	20.0	20.5
稼働率	108.2%	108.9%	107.0%	112.6%	109.4%	99.2%	100.2%	93.0%	96.5%	98.7%	97.3%	100.2%	102.6%

(2) 要介護度別月別利用状況

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	26	22	18	27	10	12	14	17	10	11	15	15	197
介護度1	54	66	61	52	79	74	93	86	101	89	78	63	896
介護度2	171	167	132	195	142	122	127	113	114	100	104	135	1,622
介護度3	249	242	244	249	265	225	221	202	192	189	175	247	2,700
介護度4	111	155	175	157	151	108	119	95	133	118	137	117	1,576
介護度5	38	23	12	18	31	54	47	45	48	105	36	44	501
合計	649	675	642	698	678	595	621	558	598	612	545	621	7,492
平均介護度	2.54	2.58	2.89	2.93	2.89	2.84	2.91	2.94	2.92	2.92	2.96	2.99	2.86

(3) 事故・ヒヤリハット報告書件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事故報告	8	10	5	8	21	4	6	3	9	16	10	13	113
ヒヤリハット	3	8	6	7	3	3	2	3	0	0	8	2	45

(4) 市への事故報告

令和6年 4月25日 A様

浴室にて手すりを支えて立位保持中にバランスを崩し転倒。後頭部に外傷、出血。
受診し2針縫合。

令和6年 7月22日 B様 (保険者：焼津市)

居室で転倒。頭部の外傷、出血。焼津市立病院を受診して7針縫合した。

令和6年12月27日 C様

夜間、居室に設置したポータブルトイレを使用しようとして転倒。藤枝市立病院を受診し右大腿部頸部骨折の診断で入院となった。

(5) 救急搬送

令和6年10月19日 SP02低下。心不全と貧血の診断となった。

(6) 相談・苦情報告書件数

(日 時) 令和6年6月14日

(相談者) ケアマネ

(内 容) 利用者宅訪問の際に、相談を受けた。着替えを行う際に「トイレで着替えて」と言われびっくりした。ケアマネとして清潔の観点も気になるが見守りせず更衣をさせていたことが心配。改善してほしい。

(対 応) ワーカー会議で話し合いをし、行き帰りの更衣は居室又は脱衣室で行ってもらうことを徹底する。その旨をケアマネに報告した。

(日 時) 令和6年6月27日

(相談者) ご家族

(内 容) 帰宅後、確認したところ便失禁あとのふき取りが悪く皮膚が弱くただれていた。

(対 応) 職員に確認すると2人介助にて丁寧に行ったとのこと。ゆるい便だった為、清拭後排便があったかもしれない。その旨を家族に伝える必要があった。月に一度の利用のため状態把握ができていなかった。

3. 自己評価

今年度は、コロナウイルス感染や感染性胃腸炎によるキャンセルが続いた時期がありました。感染症については、今年度に限らず毎年、流行がみられるものとなっています。集団での生活の場となりますので、日ごろからの感染対策が重要となってきます。研修等で学んだことを実践に活かし、可能な限り蔓延を防ぐことができるようにしていきたいと思います。

また、今年度は、ご家庭の事情などで急な利用希望や長期間滞在へのニーズが多くありました。今後も、さまざまな課題があるご利用様が増えてきます。独居や老々介護など日常的に介護が必要になった場合、ショートステイのニーズが高くなってきます。そのような時に、ケアマネジャーやご家族と連携を図り、ご利用できる体制を早急に整えていくことの重要性を感じました。

稼働実績に関しては、1年間を通じて安定した稼働率を維持することができました。ご家族の満足度を上げ、ケアマネジャーと良好な関係を築くことで新規のご利用者様を増やし稼働率の安定を維持していけるように努めてまいります。

介護職員においては、今後も在宅介護におけるショートステイのニーズが高まっていく中で地域に選ばれるショートステイになるように、ご利用者様やご家族の抱える課題や、ショートステイの役割を職員間で認識し、ご利用者様に寄り添う気持ちを忘れずに介護を行っていきたいと考えております。また、基本的なことですが、職員間のチームワークを大切にし常によりよい形で業務ができるよう向上心を持ち、日々改善点を提案し、仕事に取り組んでまいります。

○通所介護 老人デイサービスセンター愛華

緩和基準通所型サービス おでかけデイサービス愛華の郷

1. 事業概要

(1) 基本方針

当事業所は、厚生労働省令に定める内容を遵守し、それに基づいた運営規程に従った運営を行います。また、在宅の要支援・要介護等の方々にデイサービスをご利用して頂き、社会的孤立感の解消と心身機能の維持向上を図り、ご家族様の身体的・精神的負担軽減に結びつけます。さらに、保険医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めます。

(2) 営業日・時間

月～土曜日・祝日（日曜 12/30～1/3 までを除く）

サービス提供時間 9：20～16：25

(3) 事業実施地域

藤枝市、吉田町、旧島田市、焼津市（一部地域を除く）

(4) 利用定員

一般型 54名 緩和基準型 8名

(5) 職員数

管理者	1名（兼務）	機能訓練指導員	2名（1名兼務）
生活相談員	2名（1名兼務）	介護職員	14名
運転手	2名		

(6) サービス概要

食事 管理栄養士の管理のもと、栄養並びに利用者の身体の状態及び嗜好を考慮した食事を提供する。
おやつは、季節感を味わうことのできる物を提供する。

入浴 個々の身体状況に応じた入浴方法により入浴。浴室内での安全性に配慮している。

排泄 個々の身体状況、排泄状況に応じた排泄介助。

口腔ケア 個々にあった口腔ケアを提供する。

機能訓練 リハビリ体操、選択活動による手足の訓練、ペダル漕ぎ・フット・ハンドルマシーンによる上下肢筋力維持、向上訓練。

送迎 安全を第一に考慮した運転により送迎。

2. デイサービス利用実績表（請求ベース）

（1）月別利用状況

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	24	24	26	308
一般型延べ人数	960	996	896	955	959	913	953	958	910	814	815	840	10,969
緩和型人数	10	10	10	9	9	10	11	9	10	10	11	10	119

（2）要介護度別月別利用状況

（単位：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要支援1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	4	4	32
要支援2	7	8	8	6	5	6	7	5	6	6	6	5	75
要介護1	281	273	244	314	307	283	323	345	331	276	262	276	3,515
要介護2	267	297	269	268	279	272	248	236	216	191	200	211	2,954
要介護3	331	338	306	311	321	302	337	334	309	278	277	253	3,697
要介護4	81	88	77	62	44	51	42	38	45	59	62	75	724
要介護5	0	0	0	0	8	5	3	5	9	10	14	25	79

（3）入浴利用状況

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
817	859	771	820	827	786	798	783	767	690	692	696	9,306

（4）機能訓練加算1算定状況

（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
869	941	845	875	889	865	873	876	851	725	749	794	10,152

（5）事故報告書件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	4	5	2	4	2	6	9	9	7	3	3	56

（6）藤枝市への事故報告

なし

（7）相談・苦情報告書件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3

（8）職員数（管理者、生活相談員、機能訓練指導員、介護職員、運転手 *看護師は医務室連携のため含まない）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
常勤	13	13	13	13	14	14	13	14	13	13	13	13
非常勤	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

3. 自己評価

今年度は、4月～12月までは稼働率75～80%台を維持しておりましたが、令和7年1月～3月にかけ、インフルエンザ、コロナウイルスと感染症が蔓延し、稼働率が70%程まで低下してしまいました。

マスク着用、換気等の対策を行いお客様が安心して過ごして頂けるよう環境づくりにも尽力して参りましたが、今後の感染症対策をどうしていくかBCPの策定と共に再検討が必要と感じました。

1月より地域包括支援センターがなくなり、新規の獲得が以前より難しくなってきました。来年度は、外部への積極的な営業、デイサービスのサービスの質・内容についての再検討、業務効率を考えたICT化への取り組みなど新しい取り組みを行っていききたいと思います。昨年度と同様、年間新規の獲得30名、月1,000名の目標は維持し頑張っていきたいと思っています。

今年度も「教育」について行ってきました。施設内研修の他に、寺子屋オオイシにて6月に入浴、8月に移乗・移動、12月に感染症について研修を行いました。リーダー格の職員が研修の講師となり、一番大切なことは「基礎」の部分だと感じているので、基礎をしっかりインプットし、今後の業務にアウトプットができるよう継続して行っていきたいと思っています。

来年度は接遇、送迎、感染症について研修を行っていききたいと思います。

今年度は「笑顔で思いやりのある職場」を目標と掲げ1年間行ってきました。施設でも大切にしている「挨拶」の際、「笑顔」で対応でき、お客様、職員同士でも明るく、連携の取れている職場になってきていると実感しております。働くことで1番大切なことは人間関係だと思いますので、今後も職員間のチームワークを大切に、よりよいケアができるよう取り組んでいきたいと思っています。



勉強会（入浴）

勉強会（感染症）

居宅介護支援事業所 愛華の郷 令和6年度

1. ケアマネジメント業務

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	45	40	41	43	40	42	40	45	46	43	46	42	513
要介護2	58	64	63	60	55	53	52	46	47	42	46	47	633
要介護3	40	36	37	35	38	37	36	37	37	34	32	33	432
要介護4	19	19	16	18	14	11	13	10	15	12	14	12	173
要介護5	6	6	6	6	5	5	4	6	6	8	6	5	69
合計	168	165	163	162	152	148	145	144	151	139	144	139	1,820
受託件数													
要支援1	6	8	8	9	10	10	10	11	8	21	17	24	142
要支援2	17	19	19	19	19	18	18	20	16	36	33	34	268
事業対象者	4	4	3	3	3	3	3	5	5	7	6	6	52
合計	27	31	30	31	32	31	31	36	29	64	56	64	462

加算取得状況件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回加算	8	3	2	1	0	2	1	3	5	2	0	2	29
特定事業所加算Ⅱ	168	165	163	162	152	148	145	144	151	139	144	139	1820
入院時情報連携加算Ⅰ	5	2	3	4	4	2	1	1	5	2	5	1	35
入院時情報連携加算Ⅱ	2	1	0	0	3	1	0	0	0	2	0	1	10
退院退所加算Ⅰイ	3	2	1	0	1	2	1	1	0	1	0	1	13
退院退所加算Ⅰロ	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
退院退所加算Ⅱイ	1	1	1	2	0	0	0	1	1	0	0	1	8
退院退所加算Ⅱロ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院退所加算Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通院時情報連携加算	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	4
緊急時等居宅カンファレンス加算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ターミナルケアマネジメント加算	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2

代行申請件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	4
更新	3	5	8	5	3	5	3	1	1	5	4	4	47
変更	0	1	3	0	0	6	2	2	0	3	0	3	20
計	3	7	11	5	3	11	6	3	1	9	5	7	71

認定調査件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	1	0	8

2. 研修参加

日付	研修名	主催
R6.6.13	第1回地域医療と介護福祉をつなぐ会 知っておきたい災害対策	藤枝市立病院
R6.6.19	2 包括合同ネットワーク会議 消費者被害	2 包括
R6.7.17	認知症疾患医療センター研修会（ZOOM）認知機能と運転免許証	焼津市立病院
R6.7.21	看護実習生受け入れ講習	中部看護専門学校
R6.8.22	3 包括合同ネットワーク会議 障害福祉と合同会議	3 包括
R6.8.29	第1回居宅介護支援事業所合同研修会 災害派遣の取り組み	3 居宅事業所
R6.9.11	愛華圏域ネットワーク会議 事例検討会 地域資源について	包括愛華
R6.9.17	在宅医療部会（ZOOM） 介護医療院からの報告	志太医師会
R6.10.5	県ケアマネ協会集合研修 能登の災害から学ぶ	県ケアマネ協会
R6.11.15	第2回地域医療と介護福祉をつなぐ会 知っておきたい災害対策第2	藤枝市立病院
R6.11.18	第2回居宅介護支援事業所合同研修会 認知症の薬と副作用	3 居宅事業所
R6.11.25	ケアマネ実習生受け入れ研修 （ZOOM）	県ケアマネ協会
R6.12.20	3 包括合同ネットワーク会議 ACP におけるチームケア	3 包括
R7.1.15	開寿園圏域ネットワーク会議 通院送迎サービスについて	包括開寿園
R7.1.27	認定調査員新任研修	藤枝市介護福祉課
R7.2.17.19	セントケア研修 ZOOM 癌の在宅ケア、排便とバルーンカテ管理	セントケア静岡
R7.2.25	介護支援専門員研修 ケアプランに活かすリハビリの視点	藤枝市
R7.2.26	大洲民児協ケアマネ合同研修	包括第2 開寿園
R7.3.7	主治医の意見書研修	志太医師会
R7.3.10	介護予防プラン研修 （ZOOM）	県ケアマネ協会
R7.3.11	2 包括合同ネットワーク会議 高齢者虐待対応について	2 包括
R7.3.19	認定調査員現任研修	藤枝市介護福祉課

3. 定例会議

- ① 居宅会議 毎週金曜日（業務により変動）
- ② ショート・デイ・居宅 連携会議 毎月第1週目（業務により変動）

4. 自己評価

今年度は、後期から職員の異動や地域包括支援センターの廃止に伴う介護予防支援者の担当変更などがあり、新規プランを相談による受け入れ対応として制限をしてきました。団塊世代が後期高齢者となり、要介護の前段階の介護予防支援と認定される方が増大する中で、在宅で生活していくご利用者ご家族の介護予防も含めた多種多様な相談に対応していくケアマネのスキルが必要となっています。居宅事業所内での情報共有のみではなく、地域包括が主催する研修会で情報収集をしながら各ケアマネのスキルアップに心がけてきました。また、災害・感染症 BCP の施設内の研修に参加することで、非常時に即行動できる体制も必要となっています。次年度に向けて、特に在宅部門ではお互いに協力関係を保ちながら担当件数の受け入れ数の増加のみではなく身近な相談対応に心がけ、引き続き信頼される居宅として業務を行っていきたいと考えています。

○安心すこやかセンター 愛華の郷

1. 地域包括支援センター基本業務件数

【総合相談】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
新規	37	50	37	35	43	45	49	27	27	350
継続	35	33	34	29	33	31	42	34	26	297
計	72	83	71	64	76	76	91	61	53	647

【実態把握】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
虐待	0	0	1	2	1	2	0	0	1	7
見守り	0	0	0	2	0	1	1	0	0	4
在宅福祉サービス	1	3	4	2	0	0	0	0	0	10
計	1	3	5	6	1	3	1	0	1	21

【介護予防把握事業訪問】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【ケアプラン】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
直営	83	79	65	64	62	60	58	47	46	564
(初期加算)	(4)	(1)	(2)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(8)
委託	110	116	142	145	143	142	146	130	131	1,205
(初期加算)	(7)	(7)	(9)	(7)	(3)	(5)	(7)	(11)	(7)	(63)
計	193	195	207	209	205	202	204	177	177	1,769
	(11)	(8)	(11)	(8)	(3)	(5)	(7)	(11)	(7)	(71)

○各種会議 報告

経営理念のもと、各種サービスの質の向上・技術の習得・介護保険制度上の適正な運営・お客様の生活環境の向上などを目的として、職員相互の十分な意思の疎通を図り、共通認識にたった業務遂行のため会議を開催します。

主任会議

開催時期 月1回程度（第2月曜日）
目的 各部門の業務運営管理と連携及び情報の共有
協議内容 各部門の報告・協議・利用状況等



会議開催日	内容（一部）
4月8日	有給休暇、ストレスチェック、健康診断、サクラボについて
5月13日	連絡網、福祉機器、時間外申請、人事考課、処遇改善手当について
6月10日	研修、出勤時間、さわやか相談員、時間外勤務、休職届について
7月8日	洗濯業務、リネン業者、外部研修、今後の人事について
8月13日	時間外、リネン業者について
9月9日	HCR、ピュアット、電気設備について
10月15日	機械浴槽、定期昇給、親睦会について
11月11日	腰痛ベルト、処遇改善手当、シフト作成について
12月9日	らくらく連絡網、加算、職員旅行、ホームページ、給食業者について
1月14日	年間休日、ホームページ、レストルーム、パソコン関係について
2月10日	メールの管理、ユニフォーム、研修について
3月10日	勤勉手当、確認書類、来年度の行事予定について

特養会議

開催時期 月1回（第2月曜日）
目的 職員教育、人材育成、業務改善
協議内容 人事考課、マニュアルの見直し、研修・実習生の受入れ、業務改善の検討

特養フロアリーダー会議

開催時期 2ヶ月に1回程度
目的 利用者ケアの質の担保、人材育成、業務改善
協議内容 お客様の個別・集団ケア方針の検討、事故・ヒヤリの検討、委員会・行事の報告等

ワーカー会議（各部署）

開催時期	2ヶ月に1回程度
目的	各職員の連携を図り、質の向上と事故防止の検討を行う
協議内容	事故・ヒヤリの検討、委員会・行事の報告等

サービス担当者的会議

開催時期	適宜
目的	お客様の望む生活を実現するため、ご本人・家族の意向を各職種間で共有しプランを作成する
協議内容	各職種による援助方法の確認・検討

口腔衛生管理会議

開催時期	年2回＋適宜
目的	歯科医師の指示を受けた歯科衛生士との連携により口腔機能維持・向上を図る
協議内容	口腔機能維持・向上のための指示

居宅介護支援事業所会議

開催時期	週1回
目的	各スタッフとの連携を図り情報の共有とケアマネジャーの質の向上
協議内容	内容の確認、新規の紹介、困難事例の検討、インフォーマルな資源の情報の発掘、苦情、参加した研修の報告、ケアマネジメントの技術の確認

地域包括支援センター定例会議

開催時期	週1回
目的	職員間の情報の共有と困難事例等への対応協議及び意見交換
協議内容	新規相談の紹介、業務状況の確認、困難事例の検討、地域の情報の共有化、包括の事業内容、進行状況の報告など

在宅サービス連携会議

開催時期	月1回（第1週目）
目的	個別ケースの情報共有、在宅サービス間の連携強化
協議内容	利用者のサービス利用状況等を報告し情報を共有する サービス間の連携を強化し一体的なケアの提供を協議する

○各委員会 会議報告

各委員会は、健全な運営と施設機能の充実向上を図るための諸施策等について専門的に検討協議を行い、実施については全職員へ協力を依頼し施設全体での運営を図っていく。

優先入所検討委員会

開催時期 適宜

目的 施設サービスを受ける必要性が高いと認められる入所申込者を優先的に入所させるための基準を明確にし、円滑な実施を図る

協議内容 優先入所の調査、決定等

会議開催日	内 容
6月26日	待機者：175名 ユニット型2名、従来型個室5名、多床室6名 決定（重複あり）
11月6日	待機者：177名 ユニット型1名、従来型個室3名、多床室3名 決定（重複あり）
12月16日	待機者：181名 ユニット型2名、従来型個室3名、多床室5名 決定（重複あり）
2月27日	待機者：181名 ユニット型3名、従来型個室2名、多床室3名 決定（重複あり）
3月25日	待機者：180名 ユニット型2名、従来型個室5名、多床室5名 決定（重複あり）

防災委員会

開催時期 月1回（第1月曜日）

目的 様々な災害から利用者及び職員並びに来訪者の生命・身体のプロテクト並びに財産の保全を図る

協議内容 防災規程の改正、防災訓練・教育の計画、設備・備蓄点検等

会議開催日	内 容
4月1日	防災委員メンバーの確認、防災物品の確認、防災年間計画の確認 5月防災訓練について、防災総委員長の活動方針について
5月7日	5月防災訓練について、令和6年度BCP訓練の計画と研修について
5月20日	防災訓練実施
6月3日	5月防災訓練の反省、9月施設内研修について
7月1日	マンホールトイレの設営
8月5日	9月の施設内研修について、10月の合同防災訓練について、10月の愛華の郷での防災訓練について
9月2日	10月の愛華の郷での防災訓練（感染症BCPノロウイルス研修）について、9月の施設内研修の動画発信とアンケートの詳細について、ガス発電機と段ボールベッドと防災テントの使用方法的確認
9月中旬	施設内研修の実施（動画視聴、職員の災害時の通勤手段と自宅周辺の環境、愛華の郷までの所要時間のアンケート）

10月 7日	10月22日実施のBCP ノロウイルス研修の打ち合わせ、防災倉庫の点検 3施設合同防災訓練の詳細について、他施設の防災訓練の見学について
10月17日	近隣3施設と合同でBCP訓練実施（会場：第二開寿園） （第二開寿園、グリーンヒルズ藤枝、愛華の郷）
11月 5日	10月のBCP ノロウイルス研修と3施設合同防災訓練の反省、らくらく連絡網について、親睦会について
12月 2日	各階の防災用具の点検、らくらく連絡網を使用した返信訓練について
12月19日	らくらく連絡網を使用した返信訓練の実施
1月 6日	らくらく連絡網を使用した返信訓練の反省、防災用品と電池の使用期限について
2月 3日	令和6年度の年間防災計画の反省、次年度の年間防災計画の検討、令和6年度防災委員会の報告書の作成
3月 3日	令和7年度5月の防災訓練の計画、委員長の引継ぎ

メディカル委員会

開催時期 月1回（第2月曜日）＋適宜

目的 施設内の感染症・褥瘡等の防止に関する事項について協議し、その防止に努める。また、医療行為を安全に提供できるよう協議し、事故防止に努める

協議内容 感染・褥瘡防止の検討、マニュアルの見直し、啓発、教育、広報等

会議開催日	内 容
4月 8日	施設内の感染対応（施設内感染状況、面会、感染時の療養）
5月13日	施設内感染対応、抗原キッド、医行為、褥瘡について
6月10日	施設内感染状況、8・11月の研修、褥瘡について
7月 8日	感染状況、医行為、褥瘡について、8月研修内容
8月 5日	感染状況、面会、マスク使用について、ワクチン接種
9月 9日	施設内の感染状況、感染BCPについて
10月15日	感染状況、ワクチン接種について、11月の研修内容
11月11日	ワクチン接種、感染BCPの反省・課題
12月 9日	11月の研修よりの課題、12月～2月の施設内研修について
1月14日	施設内感染状況・対応、夜勤者用の抗原キッドの準備
2月10日	施設内感染状況・対応、サービス利用者のサービス復帰日数
3月10日	感染状況、感染対応（面会、手指消毒・設置場所の確認、医行為

衛生委員会

開催時期 月1回（第2水曜日）

目的 主に職員の安全衛生、健康管理について協議する

協議内容 健康診断、感染症等の予防、対策

会議開催日	内 容
4月10日	ストレスチェック実施にむけて
5月 8日	夜勤職員健康診断

6月 5日	夜勤職員健康診断・ストレスチェック結果報告
7月10日	職場環境巡回
8月 7日	ストレスチェック面談指導
9月11日	定期健康診断準備ほか
10月16日	インフルエンザ予防接種ほか
11月 6日	定期健康診断結果報告&指導
12月11日	感染症関係～コロナ感染予防～
1月15日	定期健康診断結果&指導
2月12日	職場環境巡回
3月12日	体調不良届結果

身体的拘束適正化検討委員会

開催時期	2ヵ月に1回（奇数月第1金曜日）
目的	身体拘束を廃止し、人権及び尊厳を守る。また、苦情・事故等の発生を防止・解消する体制を確立し、適切・安全な福祉サービスの提供に資する。
協議内容	権利擁護、予防啓発活動、身体拘束廃止に向けての情報収集、手段検討、問題提起等 苦情・事故防止の検討方策、啓発、教育、広報等

会議開催日	内 容
5月24日	今年度の委員長の選出、活動内容について 前年度よりの課題確認について 令和6年度施設内研修について
7月 5日	12月、2月施設内研修内容について 18のチェックポイント実施月について
9月 6日	12月、2月施設内研修内容について 身体拘束についての同意書・契約書の確認
11月 1日	12月施設内研修内容の決定 2月施設内研修内容について
1月 8日	12月施設内研修（WEB）の振り返り 2月施設内研修内容の決定 外部研修受講について 委員会の親睦会について
3月14日	2月施設内研修（WEB）の振り返り 委員会活動の振り返り 次年度7月施設内研修内容について 次年度委員長の選出 親睦会の実施

リスクマネジメント・安全対策委員会

開催時期 2ヵ月に1回（奇数月第3水曜日）

目的 利用者様がその人らしく生活できるよう、適切、安全な福祉サービスの提供に資する。

苦情、事故等の発生を防止・解消する体制を確立し、適切・安全な福祉サービスの提供に資する。

協議内容 事故、ヒヤリハットの定義の協議の検討
リスクマネジメントへの理解を深める。

会議開催日	内 容
5月17日	今年度の活動内容について 新入職員研修について 施設内研修について 安全対策の協議について リスクマネジメント安全対策のチェック表の報告と課題について
7月17日	新入職員研修の報告（6月26日実施） 他施設見学について 施設内研修について 安全対策の協議
9月18日	他施設見学の報告（8月21日実施1グループ） 施設内研修について 安全対策の協議
10月16日	他施設見学の報告（9月25日実施2グループ） 施設内研修について 安全対策の協議
11月20日	施設内研修について 安全対策について
12月18日	施設内研修について 安全対策について 親睦会について
1月 9日 31日	施設内研修 web 研修実施（感染症対策の為）
3月19日	来年度の施設内研修日程と内容について 令和7年度委員長と委員会メンバーについて 令和6年度の振り返り 安全対策について

栄養委員会

開催時期 月1回（第3火曜日）

目的 栄養並びに入所者の心身の状況及び嗜好を考慮した食事を提供する。
また経口から食事摂取ができるように多職種で話し合いをする。
食中毒予防のため、適切な知識を普及すると共に日々の業務で衛生管理を徹底する。

協議内容 食事内容・介助方法の検討、給食委託会社と施設（看護職員、介護職員を含む）の意見交換、衛生管理の普及

会議開催日	内 容
4月16日	食事についての意見、今年度の計画、イベントの予定、ノロウイルス食中毒について、紅麴の使用に関して報告、薬の付着している食器について、経口維持について
5月21日	食事についての意見、食事変更の締め切り時間について、薬の付着している食器について、経口維持について
6月18日	食事についての意見、食中毒予防について、麴の提供温度と提供方法について、経口維持について
7月16日	食事についての意見、食中毒予防について、イベント企画について、麴の食形態について、経口維持について
8月20日	食事についての意見、食中毒予防について、イベント企画について、防災用備蓄食品の入れ替え使用について、敬老の日の紅白まんじゅうについて、経口維持について
9月17日	食事についての意見、イベント企画について、経口維持について
10月15日	食事についての意見、イベント企画について、経口維持について
11月19日	食事についての意見、嗜好調査結果報告、年末年始の嗜好品提供日について、薬の付着している食器について、経口維持について
12月17日	食事についての意見、嗜好調査ナリコマ結果報告、年末年始について、経口維持について
1月21日	食事についての意見、正月の献立について、防災用備蓄食品の入れ替え使用について、経口維持について
2月18日	食事についての意見、ノロウイルス食中毒について、経口維持について
3月18日	食事についての意見、ノロウイルス食中毒について、箸・スプーンの提供方法の変更について、経口維持について

認知症ケア委員会

開催時期 2ヵ月1回開催（偶数月第一火曜日）

目的 認知症実践者リーダー研修修了者を中心に認知症への理解を深め、ケアの質の向上を図ると共に職員への研修を行っていく。

協議内容 認知症ケアの協議、マニュアル・チェック表の整備、職員研修 等

会議開催日	内 容
4月 2日	令和5年度施設内研修の反省 委員長の選任、委員会活動について
5月 8日	令和6年度の活動内容について

	新人職員研修について
8月 6日	新人職員研修の反省 定期的な情報発信について
10月 1日	施設内研修について
12月 3日	施設内研修について 認知症最新医療について
1月 7日	施設内研修について 事例問題の作成について
2月 11日	施設内研修の確認 定期的な情報発信について

職場環境向上委員会

開催時期 2ヵ月に1回（第2火曜日）

目的 職員一人一人が安心して働けるように、より良い職場環境を整えることを目指す。

協議内容 働きやすい職場環境を整える為、業務を見直し、職員への福利厚生、福祉機器の導入等についての検討・提言等を行う。

会議開催日	内 容
4月 9日	職員旅行について
5月 14日	職員旅行について
6月 11日	職員旅行について
11月 11日	職員旅行反省について

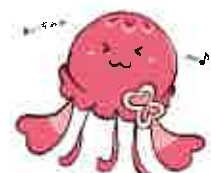
虐待防止検討委員会

開催時期 3ヵ月に1回（適宜）

目的 虐待防止検討委員会は、利用者の安全と人権保護の観点から、適正な支援が実施され、利用者の自立と社会参加のための支援を妨げることのないよう、必要に応じ随時、委員会を開催し、虐待の防止に努めることを目的とする。

協議内容 指針の整備を行い、虐待の発生またはその再発を防止するための措置を講ずる。職員への定期的な研修の開催をする。

会議開催日	内 容
4月 15日	委員会の目的と今後の取り組みについて
7月 23日	指針についての検討
8月 27日	施設内研修で行う動画についての選定
1月 15日	施設内研修の実施報告 今後の施設内の取り組みについて



○研修関係

職員研修は、職員の資質向上は勿論のこと、お客様が安心して快適にご利用して頂けるように、質の高いサービスを提供していくために必要不可欠なものです。

老人福祉施設協議会や社会福祉協議会、介護福祉士会等が主催する研修に多くの職員を参加させるとともに、施設内でも必要な研修が行える体制を整え実施し、職員一人一人が着実にスキルアップ出来るようにしています。

<施設内研修>

特養・短期入所・通所介護

日付	内 容 (部署)	担 当
4 月 11・12 日	経営理念、法令遵守、新年度の目標設定	施設長、特養主任
5 月 9・10 日	接遇マナー、コミュニケーション基礎	主任等
6 月 13・14 日	緊急時の対応、夜間オンコールについて	主任等
7 月 11・12 日	メンタルヘルス、レジリエンスについて	部長、主任
8 月 8・9 日	感染症について	メディカル委員会
9 月	防災について (Web)	防災委員会
10 月 10・11 日	看取りケア	主任等
10 月	虐待防止について (Web)	虐待防止検討委員会
11 月 14・15 日	感染症について	メディカル委員会
12 月	身体拘束、リスクマネジメント・安全対策 (Web)	リスクマネジメント安全対策委員会
1 月	人権擁護、虐待防止、リスクマネジメント (Web)	虐待防止検討委員会、リスクマネジメント安全対策委員会
2 月	身体的拘束適正化について (Web)	身体的拘束適正化検討委員会
3 月	認知症ケアについて (Web)	認知症ケア委員会

看護職員より介護職員へ個別指導（医務室担当）

実施月	内 容
5 月	医行為（吸引、経管栄養の実技確認）
1 0 月	医行為（吸引、経管栄養の実技確認）

看護職員

実施月	内 容	備 考
4 月	経営理念、法令遵守、新目標、機械使用確認	全体研修・医務室
5 月	接遇マナー、コミュニケーション、看取り動画	全体研修・医務室
6 月	緊急時の対応・オンコール、ターミナルケア	全体研修・医務室
7 月	メンタルヘルス、レジリエンス、感染	全体研修・医務室
8 月	感染症（防護衣着脱訓練）	全体研修
9 月	防災（W e b）	全体研修
1 0 月	看取りケア、感染BCP、虐待防止、吐物処理	全体研修・医務室
1 1 月	感染対応（ノロウイルス）	全体研修
1 2 月	身体拘束、リスクマネジメント、安全対策	全体研修
1 月	人権擁護、虐待防止、リスクマネジメント	全体研修
2 月	身体的拘束適正化について	全体研修
3 月	認知症ケア	全体研修

居宅・包括

実施月	内 容	備 考
4 月	経営理念、法令遵守、目標の振り返りと新目標	全体研修
9 月	防災について	全体研修
3 月	事例検討会	居宅・包括

<外部研修>

老人福祉施設協議会や社会福祉協議会、介護福祉士会等で主催される各種研修をはじめ、関係団体が主催する研修に積極的に参加していく。

また、外部研修において得た知識や情報などをスタッフに復命し、共有を図り意識技術の向上を図る。

日 付	内 容	主催者	場 所 等	職 種
R6.05.29	令和6年度 藤枝市介護支援研究会 総会及び全体会	藤枝市介護支援研究会	青島北地区交流センター	ケアマネ
R6.06.13	令和6年度第1回「地域医療と介護・福祉をつなぐ会」	藤枝市立総合病院	藤枝市生涯学習センター	ケアマネ
R6.07.17	認知機能と運転免許証	焼津市立総合病院	オンライン方式	ケアマネ
R6.07.23	令和6年度「福祉施設の人材定着研修」	静岡県社会福祉協議会	静岡県総合社会福祉会館	施設長
R6.08.09	安全対策体制加算対応研修会	全国個室ユニット型施設推進協議会	オンライン方式	生活相談員
R6.08.29	全国社会福祉法人経営者大会	全国社協、神奈川県社協	パシフィコ横浜	施設長
R6.10.05	能登の災害から学ぶ、今私たちにできること	静岡県介護支援専門員協会	静岡県産業経済会館	ケアマネ
R6.10.07	令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修) 1日目	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R6.10.14	2024 介護の学舎	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R6.10.21	令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修) 2日目	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R6.09.30	法人間連携による福祉の課題解決の事例から	静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉法人経営者協議会	オンライン方式	施設長
R6.10.04 R6.10.10 R6.10.18 R6.10.28	令和6年度 静岡県主任介護支援専門員更新研修 1日目～4日目	静岡県	オンライン方式	介護職
R6.11.08 R6.11.18	令和6年度 静岡県主任介護支援専門員更新研修 5日目～6日目	静岡県	オンライン方式	介護職
R6.11.18	令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修) 3日目	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R6.11.27	安全対策体制加算対応研修会	全国個室ユニット型施設推進協議会	オンライン方式	介護職
R6.11.29	令和6年度 静岡県個室ユニット型施設連絡会 第2回研修会	静岡県個室ユニット型施設連絡会	特別養護老人ホーム菜の花	介護職
R6.12.02	令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修) 4日目	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R6.12.06	「認知症の最新情報」研修	静岡県介護福祉士会	オンライン方式	生活相談員・介護職
R6.12.10	生産性向上取組応援セミナー	静岡県他	アクトシティ浜松	事務長
R6.12.06 R6.12.16 R6.12.24	令和6年度 静岡県主任介護支援専門員更新研修 7日目～9日目	静岡県	オンライン方式	介護職
R7.01.21	令和6年度 認知症介護実践研修(実践者研修) 5日目	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉会館	介護職
R7.01.27	令和6年度 第4回認定調査員研修(新任)	藤枝市介護福祉課	オンライン方式	ケアマネ
R7.01.29	令和6年度高齢者権利擁護等推進事業 身体拘束廃止フォーラム	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉士会館	介護職
R7.02.05	令和6年度 介護分野における「生産性向上セミナー」	静岡県介護福祉士会	静岡県総合社会福祉センター	介護職
R7.02.17	令和6年度社会福祉法人の「地域における公益的な取組」実践事例報告会	静岡県社会福祉協議会	無料	業務部長

日 付	内 容	主催者	場 所 等	職 種
R7.02.17	がんの方の在宅ケアのポイント	セントケア静岡(株)	無料	ケアマネ
R7.02.19	排泄・バルーンカテーテル管理について	セントケア静岡(株)	無料	ケアマネ
R7.02.25	介護支援専門員研修会『ケアプラン作成に活かすリハビリの視点』	藤枝市介護福祉課	無料	ケアマネ
R7.02.26	ターミナル研修 人生の最終段階を支援するために	静岡県介護福祉士会	無料	介護職

Ⅲ 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。